

JR東日本の「業研」で レジテクトRT-1 (JRE) 工法が発表されました

JR東日本旅客鉄道(株)では毎年いくつかの重要テーマに対して実務レベルの方がチームを組んで1年間研究(業務研究)し、その成果を発表する仕組みがあります。「業研」で発表できるチームは、各支社より勝ち進んだ代表12チームで社内関係者に15分程度のプレゼンをします。

東京支社土木技術センターチームのテーマは、コンクリートはく落修繕工のコストダウンに関する研究でした。経済的なコンクリート剥落修繕工の提案として「レジテクトRT(JRE)工法」を採用、みごと東京支社代表となり業研で発表して頂きました。

東京都内では、特別推進箇所における剥落対策は緊急かつ重点的に推進されていますが、現状の問題点として下面部の剥落対策を従来の無機メッシュ工法にて実施するとコスト高となる点です。目標とする剥落対策工法の要求課題は、施工速度、施工単価、規格値の項目でした。レジテクト工法の施工速度に着目した東京支社土木技術センターチームとレジテクト本部は、従来のレジテクトRT-1工法(NEXCO仕様)の中塗り材「レジテクト100」のヤング率を上げた「レジテクト2000」に変更することで全ての課題を満たす方策を取りました。

中塗り材を改良したレジテクトRT-1 (JRE) 工法を採用した結果、施工速度・施工単価・規格値全ての課題を満たすことができました、さらにコストダウン効果もあり、スプレー施工で瞬時に硬化することにより作業時間帯に制約を受ける箇所や、形状が複雑な構造物に対しても効果的です。研究のまとめでは、特別推進箇所の下面部対策にも有用な工法であるとまとめて頂きました。引き続き今年も、東京支社土木技術センターチームとは、施工後の追跡調査等により、レジテクト工法の更なる可能性を検証して参ります。

東京支店 課長 SVリーダー 小倉 克之



ピンポイント補修



剥離試験:すべて躯体剥離



施工時間の短さ、仕上がりの良さが高く評価されました